

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

2024年 6月14日 発行 第264号

発行所

日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区芝大門2-7-9 錦島ビル2F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 柏谷 幸司



中央委員会の風景

2024年度 第1回中央委員会開催

五月十二日・十三日の両日、中央委員及びオブザーバー等八十二名の参加のもと、二〇二四年度第一回中央委員会が開催された。

初日は中央委員会に先立ち、部会(組織・教宣・調査・女性)、並びに専門部会(病院部・血液センター部・看護部・看護助手会)が開催され、今年度活動方針の審議や情報交換が行われた。

翌日の中央委員会は、中 和六年四月二十三日の内閣府月例報告によれば、『景気はここところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。』とし、先行きが『(千葉血七)、書記に金子 正志氏(山形血七)が選出され、議題である二〇二四年度ベースアップや期末手当(基本額)、夏期期末手当、その他、単組より提議された議案等の経過報告と審議、また意見交換等がおこなわれた。

まず、佐藤中央執行委員長が挨拶に立った。

「本日は、五年ぶりの参集形式となる第一回中央委員会にご参加いただきありがとうございます。さて、令

東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。さらに、令和六年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要があります。」とされている。連合の春季生活闘争の五月二日の回答集計によると、月例賃金改善を要求した四千九百四十組、三千七百三十三組が妥結済み。うち賃金改善分を獲得した組合は二千三百二十三組、六・二二%は賃上げ分の集計を開始した二〇二五闘争以降初めてである。有期短時間、契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給六五・七二円(同九・二四円増)・月給一万二千八百八十三円(同四千三十四円増)である。引上げ率は概算でそれぞれ六・〇二%、五・七六%となり、引き続き二般組合員(平均賃金方式)を上回っていると報告が有った。第二回団体交渉にて、本社から昨年度の以下決算見込みの回答を得た。二般会計は財源の根幹である社資収入につい



佐藤中央執行委員長挨拶

二〇二四年度夏期手当統一要求額 二・二五か月プラス一律三万円

五月十三日(月)第一回中央委員会終了後の午後二時三〇分より、二〇二四年度第四回団体交渉が開催され、日赤新労は先の第一回中央委員会にて意見集約をおこなった結果を受け、期末手当の基本額(法人業績連動部分)について三・〇

五月十三日(月)第一回中央委員会終了後の午後二時三〇分より、二〇二四年度第四回団体交渉が開催され、日赤新労は先の第一回中央委員会にて意見集約をおこなった結果を受け、期末手当の基本額(法人業績連動部分)について三・〇(夏期一・五か月、年末一・五か月)という本社回答に対して再考を求め、改



専門部会の風景

総収支で百七十五億円の赤字決算を見込んでいる。血液事業特別会計は、収支で四十八億円の黒字決算を見込んでおり、安定的な経営が維持できていると思っ

【報告事項】
一、各部報告
【組織部】
中央委員の組織部員九名、オブザーバー、本部より組織部長の柏谷中央書記長の進行のもとで組織部会がおこなわれた。新規組合員の獲得・単組組織率の拡充について説明、意見交換等がおこなわれた。さらに組織率が下がっている単組に対するオルグ活動の強化

【教宣部】
●活動報告として、組合員活用レポの作成・配布(3/15・連絡第1986号)が報告された。

【調査部】
中央委員の教宣部員九名、オブザーバー、本部より調査部長の金光中央執行委員長の進行のもとで調査部会がおこなわれた。二〇二三年度の調査事項内容に基づき、二〇二四年度調査事項の追加事項検討、および削除事項検討が、おこなわれた。削除項目として、「コロナ手当の支給状況について」「勤務評定による特別昇給の実施状況について」「保育施設の利用状況について」の三項目が決定、追加項目として「血液センター内での職員の定数について」「看護助手の処遇改善手当につ

【2面へ続く】

単組新任役員研修会
2024年6月22日(土)~23日(日)
三重県伊勢市吹上1-11-31
「伊勢シティホテル」



研修会は、9月8日(日)~9日(月)、第2回中央委員会の日程内で福島県福島市で開催。希望する講演テーマについて多数の意見があり、依頼講師も含め早急に調

【一面から続き】

姓通称使用(旧姓を通称として使用する)、c. 事務・コメディカル(女性の少ない部署における)昇進などの差別的以上三点について取り組むこととした。

二、専門部会報告

前日開催された専門部会の報告が行われた。

【病院部】

医療施設全体で労使協議会のテーマについての意見交換が行われた。内容としては「資格手当」「勤務評定」「新たな等級に対する

追加項目とするか検討に入る事が報告された。

【女性部】

中央委員二名、各単組の女性部長はじめオプザーバ、本部より女性部長の國本中央執行委員長の進行のもとで女性部会がおこなわれた。今年度は女性特有の問題提起もあり、ジェンダー部への部会名変更は、次回以降の議題を加味して継続検討とした。今年度はa. 小一の壁問題、b. 旧

【血液センター部】

二〇二四年十月に予定している血液センター部会の開催場所、また血液事業本部労使協議会での協議内容について意見交換・協議が

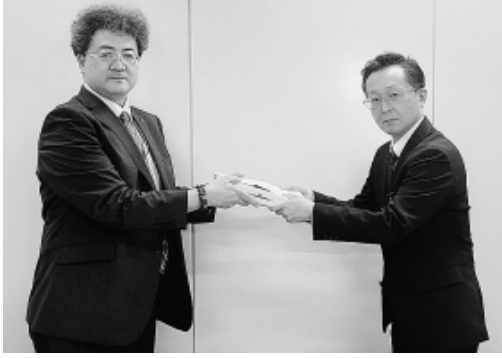
【病院看護部】

今年度の看護部会と労使協議会の日程とブロック代表者・助手代表を確認した。二〇二四年度の調査事項項目と協議する内容について意

※今後の予定

- 表者会議：七月七日(日) 九時〜十二時
●単組新任役員研修会：六月二十二日(土) 十三時三十分〜二十三日(日) 十二時
●第二回中央委員会：九月八日(日) 十三時〜九日(月) 十二時
●第三回中央委員会：十二月十四日(土) 十三時〜十五日(日) 十二時
●第六十四回定期全国大会：二〇二五年二月十六日(日) 十三時〜十八日(火) 十二時
●第二回血液センター部会：十月二十六日(土) 十三時三十分〜十六時三十分
●「レジョセンター」浜松町にて
●「ホテル」にて
●「ホテル」にて

全国から15,028名の署名簿を提出 要求実現へ向けて



5月13日(月) 全国の加盟単組より寄せられた組合員及びその家族15,028名の署名簿を本社へ提出し、今年度のベースアップ5.0%、並びに新たな手当やその他の諸要求の実現に向けて、本社の誠意ある対応を強く申し入れました。

参考 *昨年度14,335名

【二〇二四年度中央委員】

◎印は代表中央委員、通信委員・闘争委員を兼ねる

- 【第一ブロック】(二名) 高橋八千枝(盛岡日赤) 教 金子 正志(山形血七) 調
【第二ブロック】(八名) 加藤由香利(芳賀日赤) 教 大塚 淳(那須日赤) 教 井川 智義(足利日赤) 調 菅谷 英章(原町日赤) 調 吉田 瑠花(秦野日赤) 調 水崎 江利(浜松日赤) 組 渡邊可奈子(浜松日赤) 組 ◎阿久根茂樹(千葉血七) 組
【第三ブロック】(九名) 竹前 秀一(飯山日赤) 教 林 衛(名二日赤) 組 荻野 裕太(名二日赤) 調 服部 哲幸(名二日赤) 教 野村 勇介(名二日赤) 調
【第四ブロック】(一名) ◎阿迦井 功(大津日赤) 組
【第五ブロック】(七名) 大淵 賢一(鳥取日赤) 教 小林 誠(鳥取日赤) 教 小田 昌弘(岡山日赤) 教 青井 雅普(岡山日赤) 組 松田 由佳(岡山日赤) 調 米田 晋司(三原日赤) 組 有本 忠弘(三原日赤) 調
【第六ブロック】(一名) ◎松本 良樹(今津日赤) 調 以上、二十八名

【看護助手会】

昨年同様に、看護助手を取り巻く現状を訴え、呼称問題をはじめ、人員確保や働き方について③看護助手業務における問題点について④その他(Rプラン・勤務評定について)の四項目を議題とし、本年七月六日開催の第二回病院看護部会にて更なる意見集約をおこなうこととした。また、二〇二四年度の調査事項項目に、グレード昇格の現状把握が出来るような項目の追加を調査部に依頼することとした。

三、一般経過報告

粕谷中央書記長より二般経過報告が読み上げられ、今年度ベースアップや賞与の基本額、また、令和五年四月一日実施された新たな勤務評定制度にかかる評定の実施状況、令和六年からどおり定昇込み五〇%(一万九千四百円)で承認された。

【審議事項】

一、二〇二四年度ベースアップについて

手をナースエイドに変更することが本部より提案され、承認された。合わせて「看護助手会」を「ナースエイド会」と改名するとし、動の報告と質疑応答がおこなわれた。

第2回中央委員会 2024年9月8日(日)〜9日(月) 福島県福島市太田町13-53 「ホテル福島グリーンパレス」



二、期末手当について

基本額(法人業績連動部分)について 基本額四・五か月プラス一律六万円の要求額で継続交渉をおこなう。最終判断は本部一任。

【統一要求額】

夏期期末手当について

各ブロックで意見が割れたが投票した中央委員が最も多かった、二・二五か月(統一要求額)のみの記載の

【統一要求日】

本部一任(基本額が妥結次第本部より伝達する)

三、その他

日赤新労ホームページ「DATA BANK」(一時金の記載について) 那須日赤より、二〇一九年以前の記載方法と二〇一九年以降の基本額(法人業績連動部分)のみの記載の

並列は、判りづらさで人事院勧告との差が広がっている印象を受けるという指摘があった。本部より掲載方法の改善を検討する提案が出され、承認された。

【二〇二四年度週休二日制アンケートについて】

二〇二三年度第三回中央委員会にて決定した、未実施施設に対する二〇二四年度週休二日制アンケート活動

たからこそだと思えます。皆様にご協力をお願い申し上げます。二月二十五日、佐藤中央執行委員長、眞秀中央執行委員長、近隣単組役員、歴代三役の方々と病院幹部に参加していただき、

七十年の長き 歴史を噛み締めて



足利赤十字病院職員組合70周年

足利赤十字病院職員組合 結成七十周年記念式典開催

私たちの職員組合は、昭和二十四年に組合結成し七十年を迎えることができました。この記念すべき日を迎えることができました。単組の皆様のご支援があっ

足利赤十字病院職員組合をよりよくしたいと願っています。 組合長 飯塚文哉